

久留米市
障害者基幹相談支援センター
令和3年度報告会

令和4年6月28日（火）

久留米市障害者地域生活支援協議会全体会



障害者基幹相談支援センターとは…

委託相談

- 総合的、専門的な相談支援
- 権利擁護、虐待防止の推進

主に当事者・家族を対象

基幹相談

- 相談支援事業所のバックアップ
- サービス等利用計画の推進
- 地域移行・定着の促進
- 地域づくり
- 地域生活支援協議会の運営

主に事業者・関係者を対象

平成28年7月から久留米市内4ヶ所に開設しました

御井・合川・小森野・宮の陣・北野・弓削・大城・金島・西国分・東国分
荘島・日吉・篠山・南薫・長門石・京町・鳥飼・金丸



委託相談

総合的、専門的な相談支援

- ・ 障害者手帳の取得の方法を教えてください
- ・ 私が使える障害福祉サービスはどんなものがあるの？
- ・ 障害福祉サービスって何があるの？
- ・ 親亡き後の生活が不安

権利擁護、虐待防止の推進

- ・ お金の管理に不安があるけど、何かよい方法はないかな？
- ・ 成年後見制度を利用するにはどうしたらいいの？

相談件数・相談項目・相談方法 関係機関との連携調整 について

4基幹合計



表内の%表記は全て小数点切り捨てて表示しています

令和3年度 新型コロナウイルス陽性者数(日計)

- ◆陽性者数:17,117名
- ◆1日最大陽性者数:343名(2月10日)
- ◆検査件数:156,766名
- ◆1日最大検査件数:1,977名(1月27日)

350

300

250

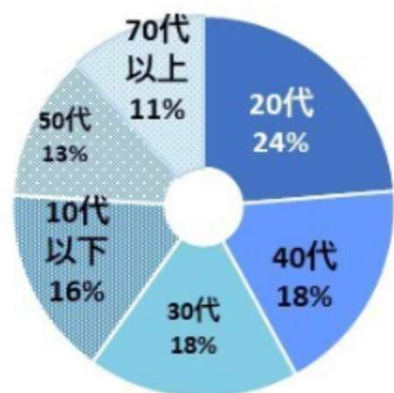
200

150

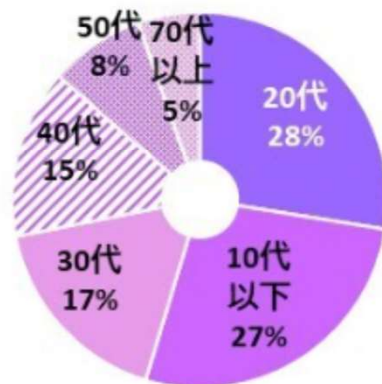
100

50

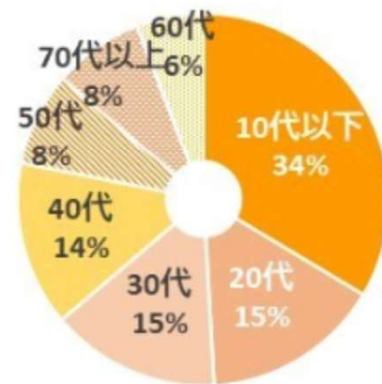
0



第4波



第5波

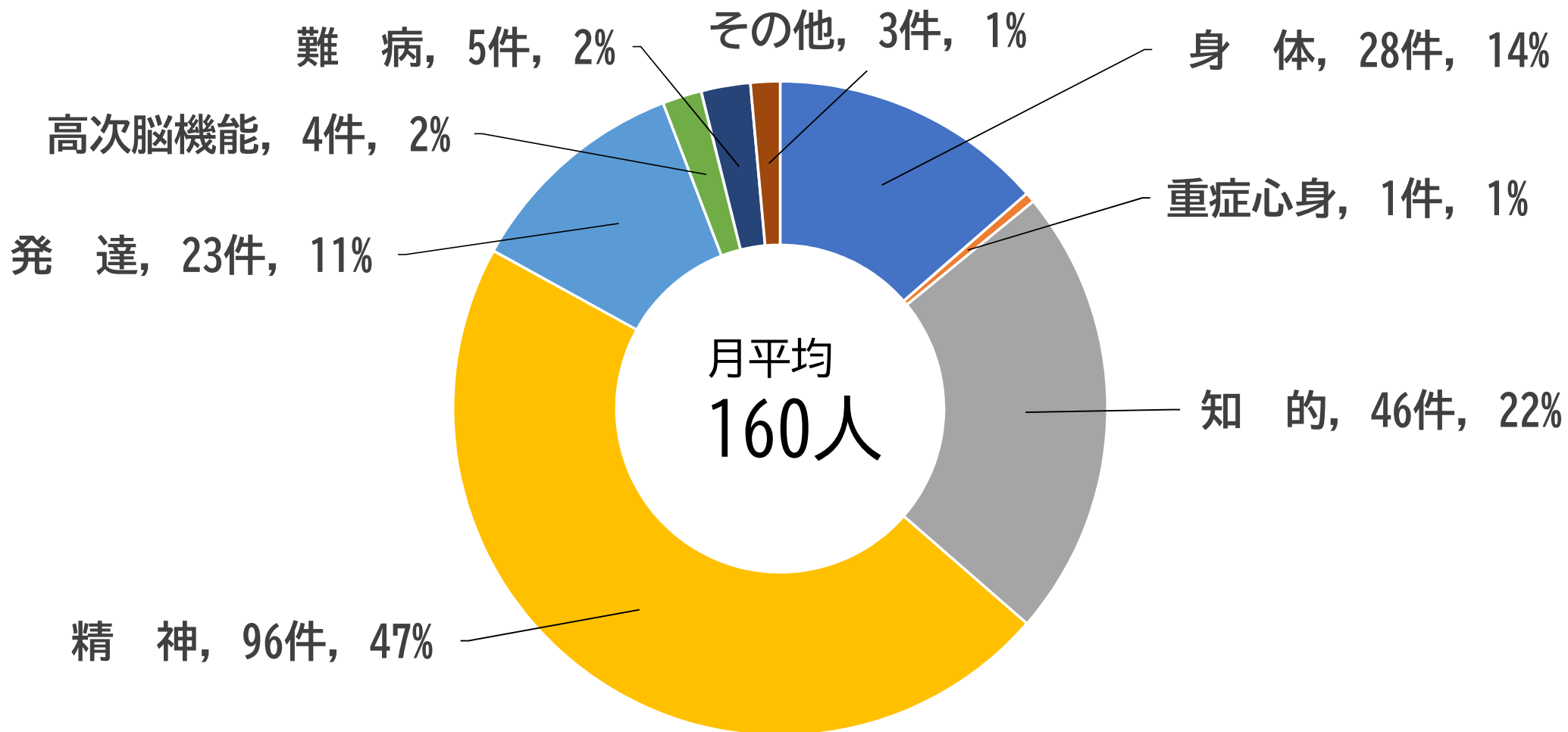


第6波

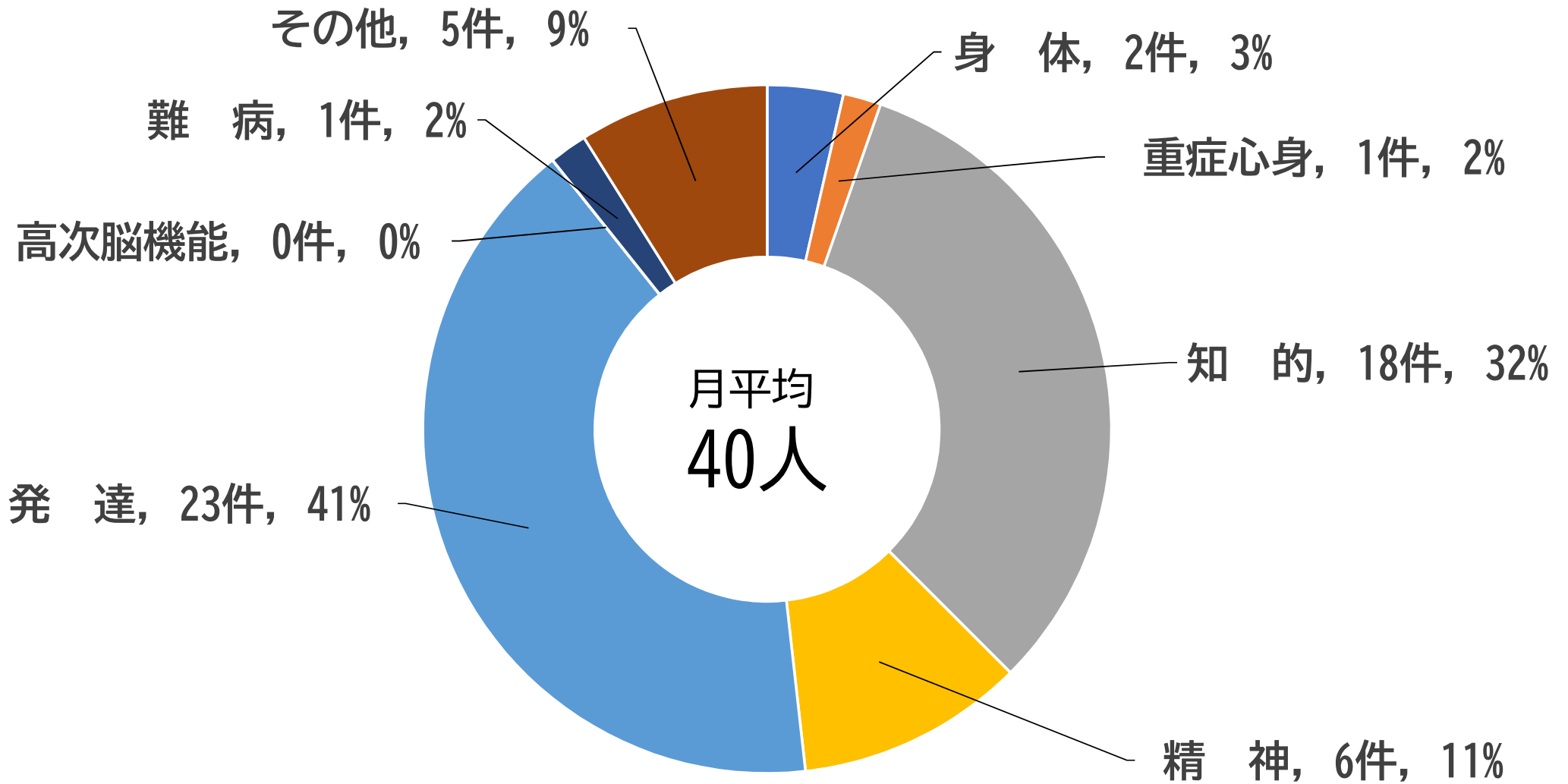
4/1 5/1 6/1 7/1 8/1 9/1 10/1 11/1 12/1 1/1 2/1 3/1



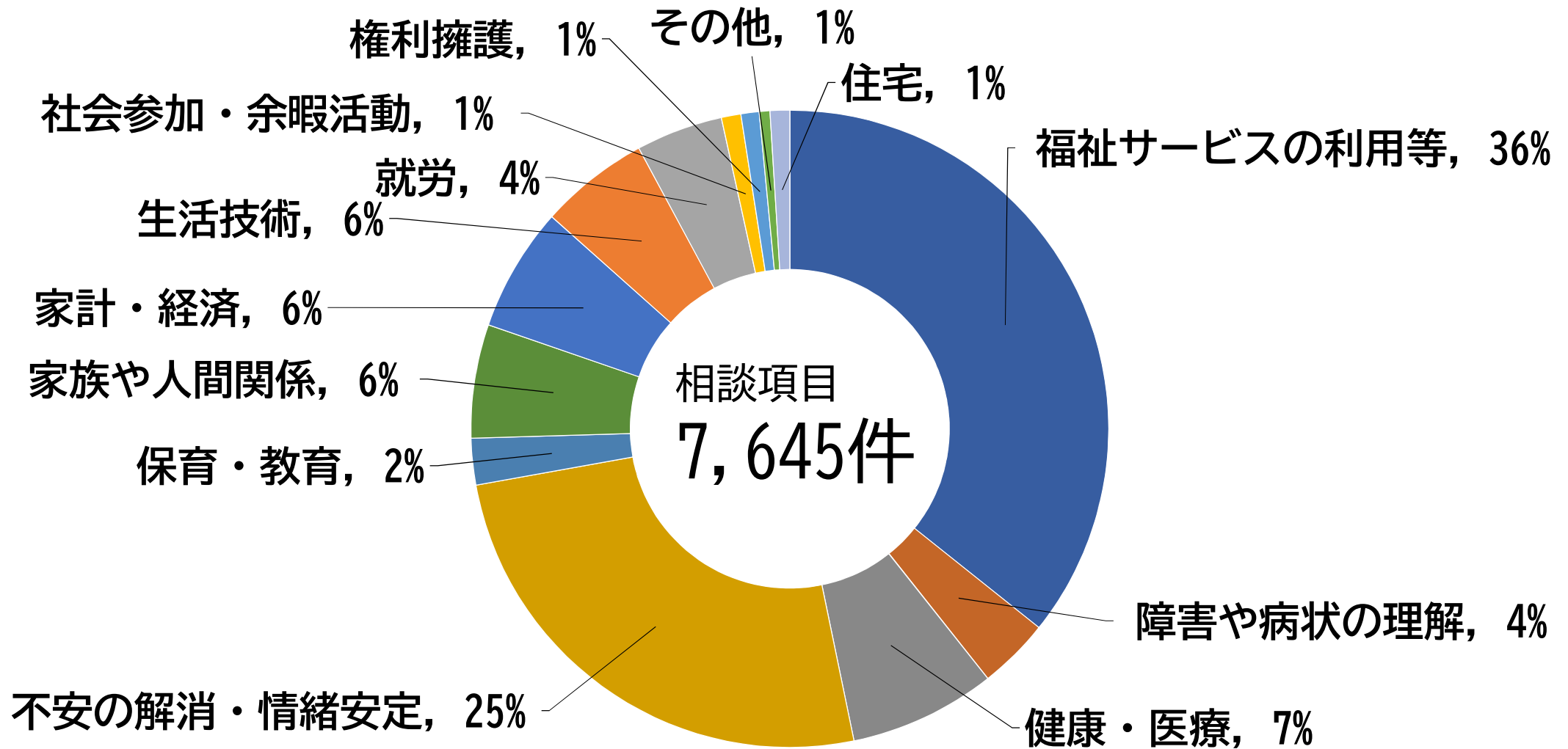
【月平均の実利用者数（大人）】



【月平均の実利用者数（児童）】

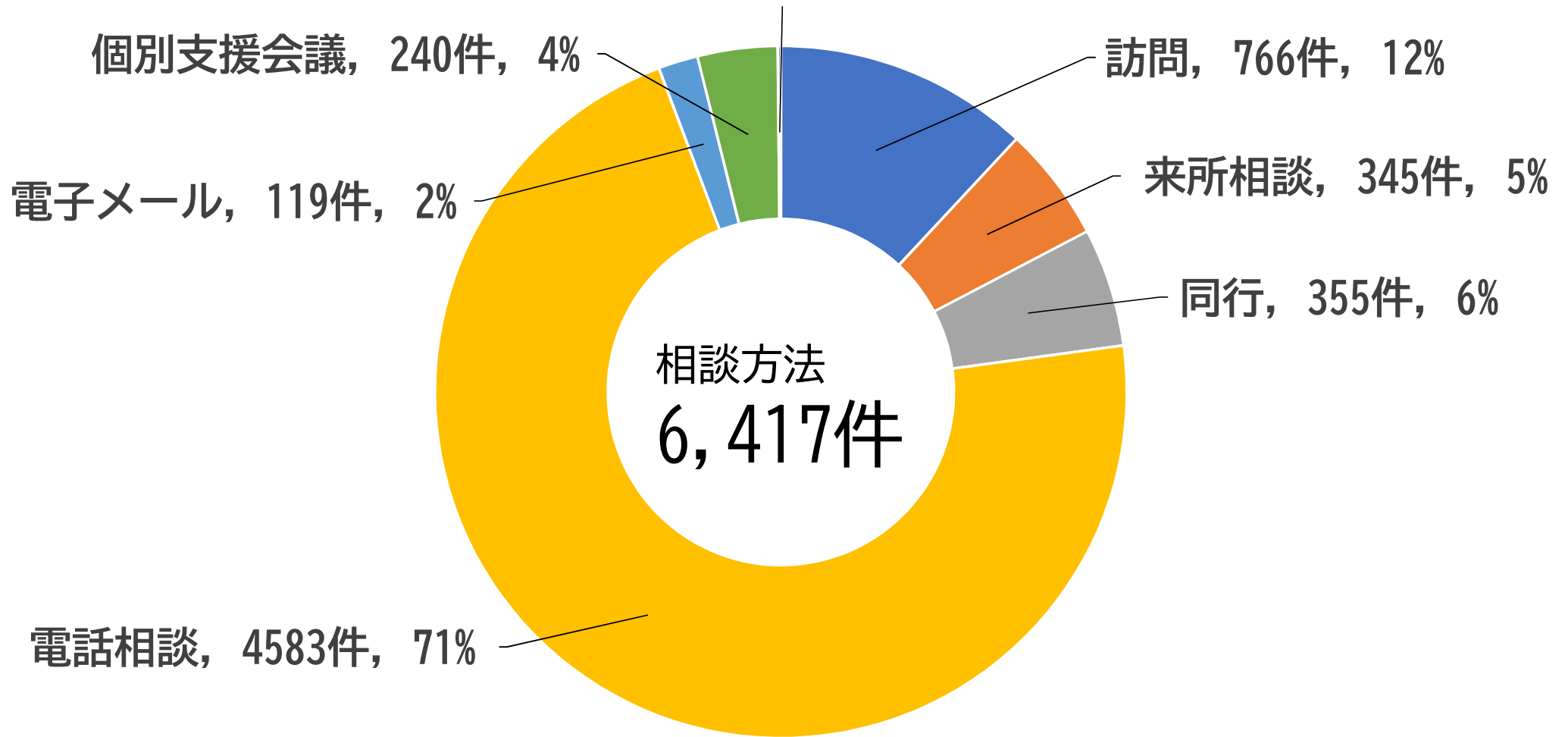


【相談項目別】



【相談方法 内訳】

その他, 9件, 0%



権利擁護、虐待の防止について

～主な関係機関～

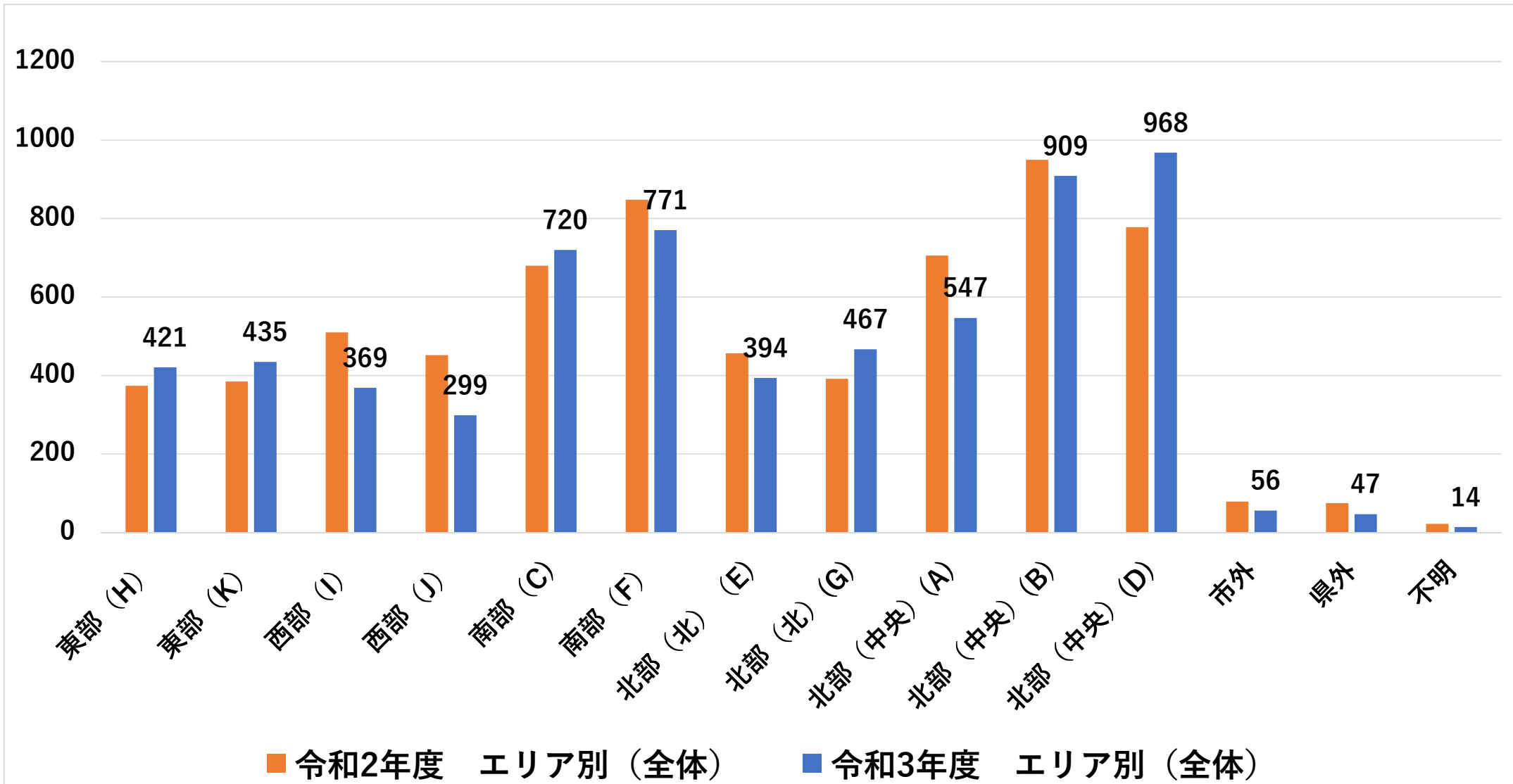
◎成年後見対応(24件)・・・医療機関・家庭裁判所・成年後見人・成年後見センター・
相談支援事業所・障害者福祉課・包括支援センター 等

◎虐待事例対応(30件)・・・医療機関・警察・児童相談所・相談支援事業所・
障害者福祉課・家庭子ども相談課・施設入所支援事業所 等

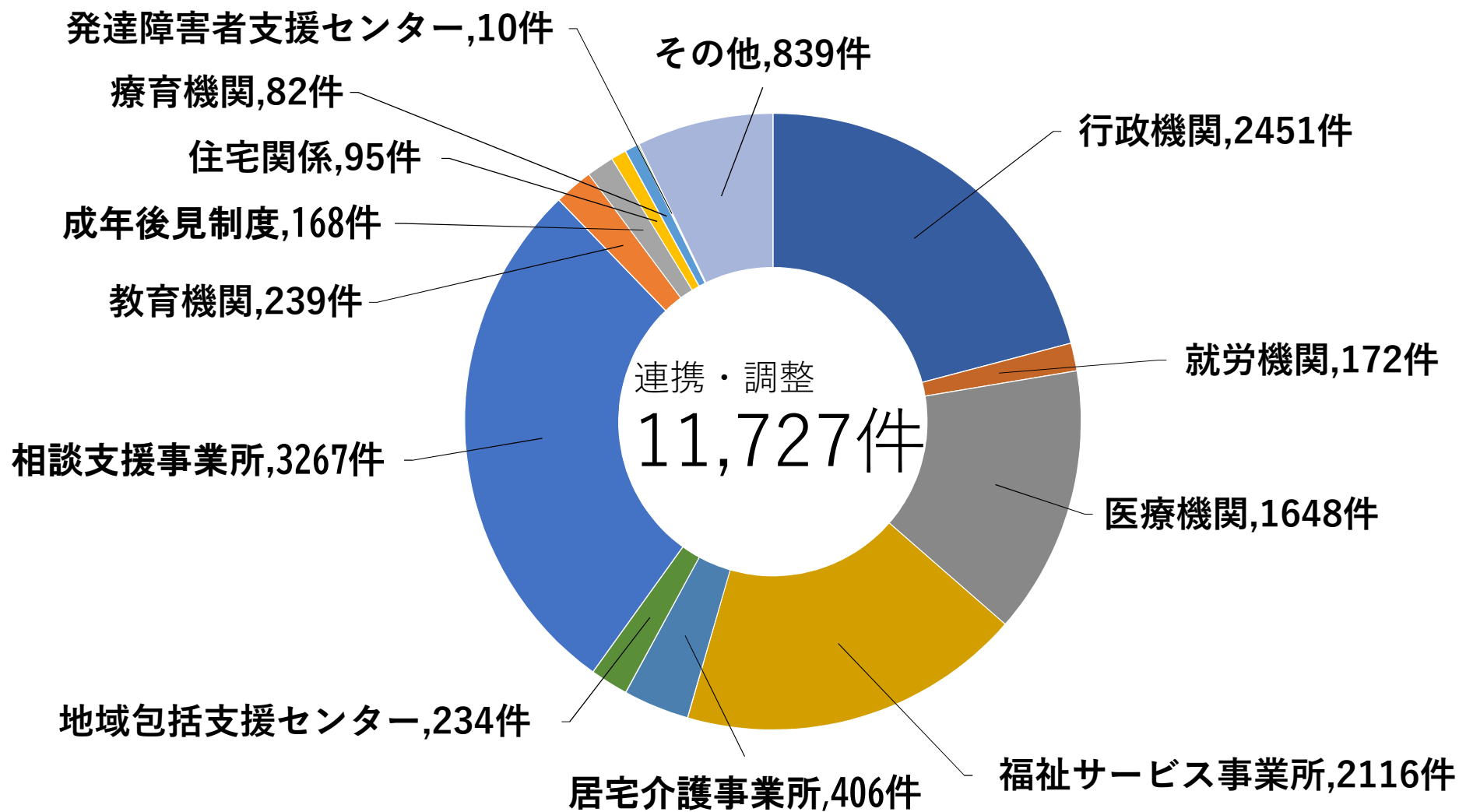
◎差別解消対応(2件)・・・地域住民・民生委員・精神科病院 等

* 事例重複あり

【エリア別の相談対応件数】



【関係機関との連絡調整】



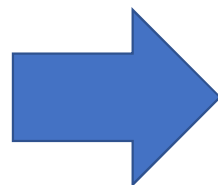
基幹相談

- 相談支援事業所とサービスを利用したい地域の障がいのある方を繋ぐ
→ サービス等利用計画の推進・セルフプランの解消
- 相談支援事業所のバックアップ→困難ケースに介入
- 相談支援専門員のスキル向上を支援 **相談ネット・勉強会**を企画
- 安心して住みやすい町づくりの実現→**研修会・機関紙発行**を実施

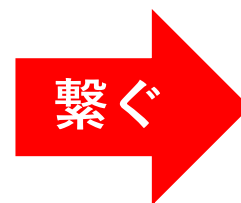
指定・特定相談支援事業所への繋ぎ件数

障害者・・・80件
障害児・・・41件

福祉サービスを利用したい



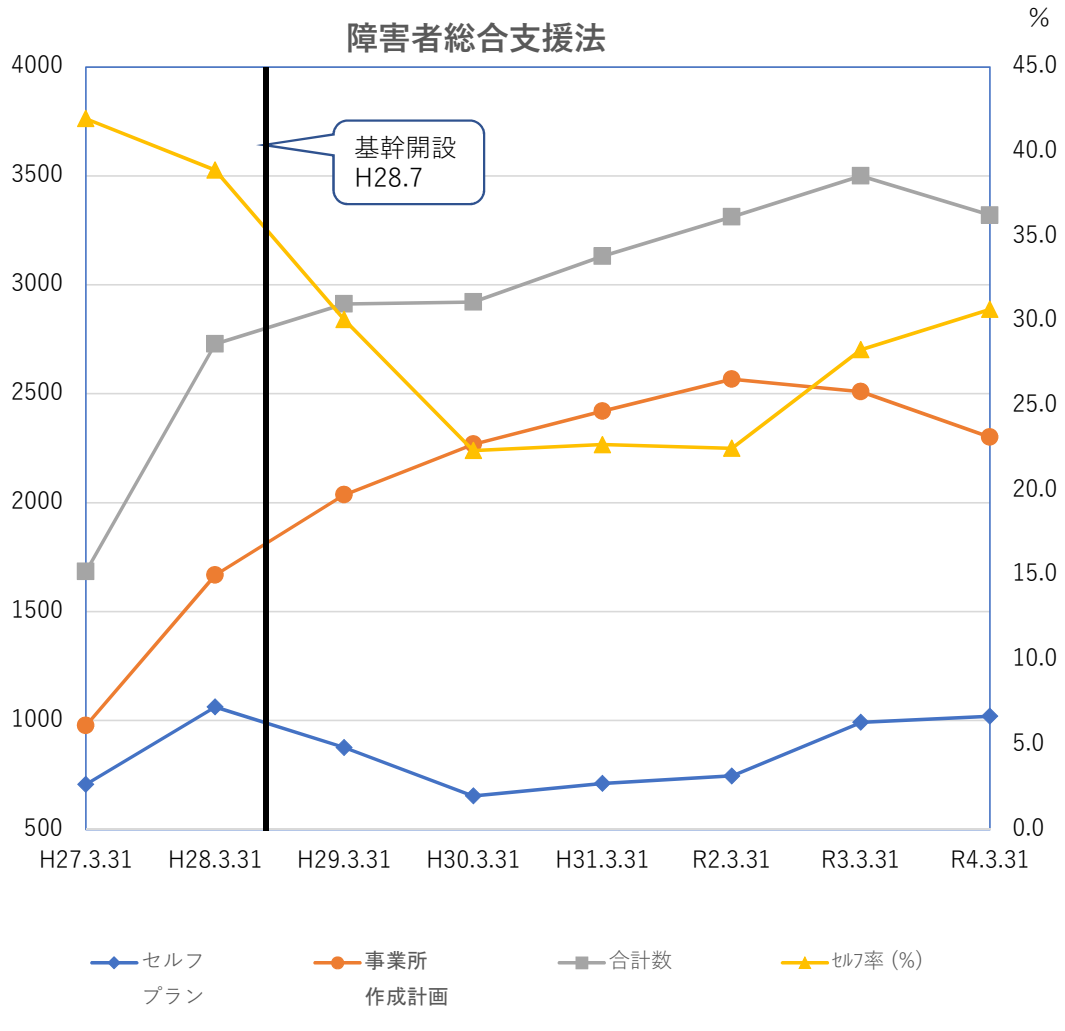
基幹相談支援
センター



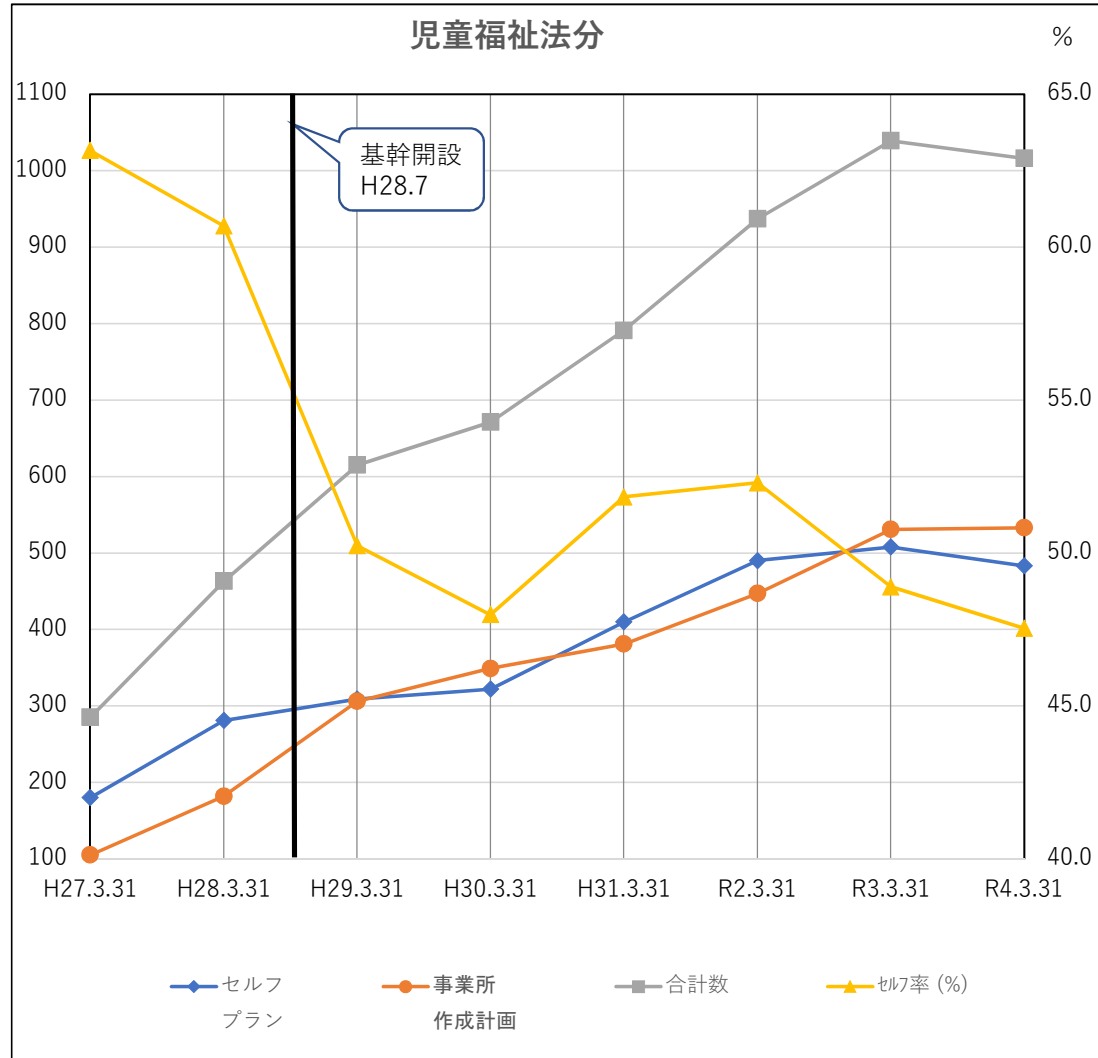
指定・特定
相談支援事業所

サービス等利用計画数とセルフプラン数の推移

障害者総合支援法



児童福祉法分



相談支援事業所のバックアップ

～相談支援専門員の方のスキルの向上～

①勉強会・ケース検討会を開催、個別支援会議への出席等

②困難ケースへの介入…世帯支援が必要なケース等

相談支援事業所との連携・調整…2,865件

③くるめ相談ネットの開催

くるめ相談ネット(相談支援事業所連絡会)について…

- ・市内34か所の相談事業所の相談支援専門員が集まって研修や情報共有を行う場の提供
(例年、毎月第3木曜日に実施しているが、コロナ禍においては隔月の開催)
- ・専門分野を超えて連携するため、関係機関の講師を招き、グループワーク等を通して学びを深めている

平均参加者:55名



安心して住みやすい地域づくりの実現に向けて

- 研修会「障害があるから、学べたこと
～子育ては、親育ち～」の開催
- 機関紙 9号 「コロナ禍でも頑張っている久留米の
事業所をキラキラと取り上げていく」
10号 「地域生活支援協議会 こども分科会」
- ホームページでの広報・啓発



研修会を開催

令和3年度 久留米市障害者基幹相談支援センター 研修

参加費 無料

障害があるから、学べたこと 子育ては、親育ち ～つながりのおかげで、親も子どもも成長できた?～

何もかもにつまずき、何もかもうまくいかないように感じていた・・・不安と焦りの中で、療育に・・・ある日、本当にどうしようもなく、子どものまねをしてみた。そしたら、不思議に彼の世界がちょっと分かった気がした・・・「そうだ、私の世界から見ると違って、子どもの世界から見よう」オンラインで、ゆっくり子育ての経験を分かち合いませんか? ミュートでオフでも大丈夫ですよ!

2022年 2/26 (土) 13:30~15:45

会場 オンライン (ZOOM)
定員 100名
対象者 当事者、家族、学校関係者、関心のある方
申込 裏面をご確認ください

13:30~14:30 基調講演『療育への思い 親子への寄り添い』

ゆうかり学園 ゆうかり医療療育センター 心理療育部 参与
ひめの だいすけ
姫野 大助 先生

14:30~15:45 シンポジウム「地域で育つ楽しみ」

中村 路子さん (じじっか副代表)
早川 成 さん (天使こども園園長)
藤野 薫 さん (先輩ママさん)
松野 友里さん (現役ママさん)



主催 久留米市 (久留米市障害者基幹相談支援センター)
後援 久留米市教育委員会
問い合わせ 久留米市南部障害者基幹相談支援センター
TEL: 0942-51-8555 FAX: 0942-22-2275
Email: k-nanbu-kikan@juno.ocn.ne.jp



「障害があるから、学べたこと ～子育ては、親育ち～」

開催日時：令和4年2月26日 13:30～

開催方法：ZOOMにて

参加者数：77名

感想・考察

- 現役ママ・幼稚園・保育園教諭・事業所職員等、幅広い参加があった。
- 療育の基礎と子どもに共感することの大切さや関わり方を学んだ。
- 保護者の想いを受け止めることができた。
- 自宅で研修が受けることができたのがよかった。



基幹相談支援センターが今年度取り組むこと 及び 考察

今年度の取り組み

「安心して住みやすい地域づくりを継続していく」

- ① 地域課題の把握のため部会・分科会を活性化させる
- ② 関係機関や地域との顔の見える関係作りをより広く深くし連携強化を目指す
～既存の社会資源・新しい社会資源との柔軟な繋がり～
～重層的支援体制整備事業への参加～
- ③ 指定・特定相談支援事業所のバックアップを継続する
～相談支援専門員の方と互いに学び、相談し合える関係づくり～

ご清聴ありがとうございました

